ミヤコジマツヅラフジ

Cyclea insularis (Makino) Hatusima 選定理由

県内の生育地は極めて希で,占める面積は狭く,個体数も多くない。 海岸の低木に巻き付いているため, その森林化の影響を受け, 絶滅の 危険性が高い。

県内分布

豊後水道域

分 布 域

本州(近畿地方南部,中国地方西部)四国,九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・ 大分・鹿児島) 沖縄

台湾

ツヅラフジ科 Menispermaceae

現

生育環境|海岸崖地の林縁。

カテゴリー

大分県 IB 環境庁 掲載なし

海岸崖地の低木に巻き付いて群生するが, 生育地は点在し, そのまと

まりは広くない。森林化に伴って衰退した所がみられる。

備

暖地植物。九州東海岸では,極めて希な生育地である。

コウモリカズラ

Menispermum dauricum DC.

選定理由

全国的に分布するが, 県内の生育地は極めて少ない。 刈払いや採草, 植生遷移の進行などにより,絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布

日田低地·丘陵地,(津江山地),九重火山群

ツヅラフジ科 Menispermaceae

分 布 域 | 北海道 本州 四国 九州(熊本·大分·鹿児島) 朝鮮半島,中国(北部・東北部),東シベリア

低地から低山地の河床や林縁。 生育環境

カテゴリー

大分県 IA 環境庁 掲載なし

現

河川堤防や水田土手などに生育しているため,除草などの影響を強く 受ける。「津江山地」の標本はあるが、その生育地は把握されていな L1

ナガミノツルキケマン

Corydalis ochotensis Turcz. var. raddeana (Regel) Ohwi 選定理由

本県では丘陵地や低山地に生育し,個体数もかなり多い。路傍や林内 に生えるため,採草や植生遷移の進行などによる影響が懸念される。

県内分布

耶馬渓地区,英彦山・犬ヶ岳山地,津江山地,玖珠丘陵地・山地,九重 火山群,由布·鶴見火山群,大分川·大野川丘陵地,大野川上流域,祖 母·傾山地

ケシ科

Papaveraceae

分 布 域

北海道 本州 ,九州(福岡·大分·宮崎) 朝鮮半島,中国(東北部),アムール

カテゴリー

準 大分県 進 環境庁

生育環境

丘陵地や低山地のやや湿った路傍,林縁。

現

道路の拡幅や圃場整理などで消滅した所がある。